

佐々木さん(光星高)と大久保さん(鮫中)



神楽団体の枠を超えて一緒に鳥舞を披露する
大久保梨姫さん(右)と佐々木陽菜さん

「鳥舞」共演息ぴったり 神楽団体の枠超え披露

三嶋神社例祭 観衆沸かせる

6、7日に八戸市白銀町の三嶋神社で開かれた例祭恒例の、白銀四頭権現神楽保存会によるステージ。演目の一つ「鳥舞」を、同会に所属する佐々木陽菜さん(16)と八戸学院光星高2年と、鮫神楽を習う大久保梨姫さん(14)と市立鮫中3年が舞った。白銀と鮫は今年、お互いの発表会にゲスト出演して交流を深めているが、別の団体のメンバーと一緒に同じ演目を舞うのは神楽では極めて異例。息の合った姿は、境内に集まった地域の人たちを大いに沸かせた。(松浦大輔)

習い始めてまだ10カ月とで、びたびたつと止まる。日の浅い大久保さんだが、最後に1人で舞うのが鮫は昨年12月の「民俗芸能の夕 雄役、白銀は雌役なのも違べ」で、鮫とは雰囲気異なる」と説明する。

る白銀の神楽にも魅了され 大久保さんは「ほぼ一かた。そこで、先輩の畑中大河ら覚えた感じ」だったが、さん(24)が番楽を習おうと 実質2週間程度の練習でも白銀神楽の門をたたいたのにし、観衆の前で堂々と一緒に行って、白銀の鳥披露。「機会があれば違う舞を練習。例祭のステージ 演目にも挑戦したい」と意に出演することになった。 欲をみなぎらせていた。

「鳥舞」は鮫神楽にもある 佐々木さんも「理解が早い演目だが動きなどは大きく、安心して一緒にやれた。く異なり、佐々木さんは「鮫 自分も鮫神楽の動きを学んは静かで流れるように踊る みてみたかった」と刺激をけど、白銀は動きが激しめ 受けた様子だった。